

2 級

答案用紙

第1予想

平成 28 年度
第 144 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では、問題用紙および答案用紙に以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想
第144回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

2 級 ①

商業簿記

× (コピートジル) ×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 . . . _____

× (コゴトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ②

商業簿記

採点欄	
第2問	

第2問 (20点)

問1	¥	運用損・運用益
----	---	---------

問2	¥	借方残高・貸方残高
----	---	-----------

問3	¥
----	---

問4	¥
----	---

問5	¥
----	---

受験番号

氏名

生年月日

× (コゴフトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ③

商業簿記

採点欄

第3問

第3問 (20点)

貸借対照表

平成28年3月31日

(単位:円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金 ()	()	支払手形 ()	()
受取手形 ()	()	買掛金 ()	()
売掛金 ()	()	電子記録債務 ()	()
電子記録債権 ()	()	未払費用 ()	()
貸倒引当金 ()	()	未払法人税等 ()	()
有価証券 ()	()	流動負債合計 ()	()
商品 ()	()	II 固定負債	
前払費用 ()	()	長期借入金 ()	()
未収収益 ()	()	固定負債合計 ()	()
流動資産合計 ()	()	負債の部合計 ()	()
II 固定資産		純資産の部	
1. 有形固定資産		I 株主資本	
建物 ()	()	資本金 ()	()
減価償却累計額 ()	()	利益剰余金	
備品 ()	()	利益準備金 ()	()
減価償却累計額 ()	()	繰越利益剰余金 ()	()
2. 投資その他の資産		株主資本合計 ()	()
投資有価証券 ()	()	II 評価・換算差額等	
長期性預金 ()	()	その他有価証券評価差額金 ()	()
長期前払費用 ()	()	純資産の部合計 ()	()
固定資産合計 ()	()		
資産の部合計 ()	()	負債及び純資産合計 ()	()

区分式損益計算書に表示される利益

① 売上総利益	¥
② 営業利益	¥
③ 税引前当期純利益	¥
④ 当期純利益	¥

受験番号 _____

氏名 _____
 生年月日 _____

× (コゴロトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第1予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

年間予算部門別配賦表

(単位:円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		加工部	組立部	動力部	修繕部	工場事務部
部 門 費	9,375,000	3,115,000	3,110,000	1,100,000	750,000	1,300,000
工場事務部費						
修繕部費						
動力部費						
製造部門費						

仕 掛 品

(単位:円)

月初有高	746,000	完 成 高 ()	
直接材料費	825,000	月 末 有 高	1,093,500
直接労務費			
加工部 ()			
組立部 ()			
製造間接費			
加工部 ()			
組立部 ()			
()		()	

第5問 (20点)

組別総合原価計算表

	S 製 品		N 製 品	
	原 料 費	加 工 費	原 料 費	加 工 費
月初仕掛品原価	62,500	()	—	—
当月製造費用	210,500	()	135,000	()
合 計	273,000	()	135,000	()
月末仕掛品原価	()	()	—	—
完成品総合原価	()	()	135,000	()
完成品単位原価	()	()	675	()

仕 掛 品

(単位:円)

月初有高 ()	S 製 品 ()
原 料 費 ()	N 製 品 ()
直接労務費 ()	月 末 有 高 ()
製造間接費 816,000	
()	()

2 級

答案用紙

第2予想

平成 28 年度
第 144 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では、問題用紙および答案用紙に以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想
第144回対策 答案用紙

2 級 ①

商業簿記

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

×

(コピートジル)

×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 _____

氏名 _____
生年月日 _____

× (コゴフトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ②

商業簿記

採点欄

第2問

第2問 (20点)

問1

銀行勘定調整表

平成28年3月31日

(単位:円)

企業の当座預金勘定の残高	()	銀行の残高証明書の残高	()
加算: []	()	加算: []	()
減算: []	()	減算: []	()
	()		()

問2

	企業側の修正仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問3

現金過不足の金額 ¥ () (過 剰 ・ 不 足)

(注) () 内の「過剰」または「不足」を○で囲むこと。

受験番号

氏名

生年月日

× (コゴトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ③

商業簿記

採点欄

第3問

第3問 (20点)

損益計算書

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

(単位:円)

I 売上高	()	()
II 売上原価		
1. 期首商品棚卸高	()	
2. 当期商品仕入高	()	
合計	()	
3. 期末商品棚卸高	()	
差引	()	
4. 棚卸減耗損	()	
5. ()	()	()
売上総利益	()	()
III 販売費及び一般管理費		
1. 給料	()	
2. 保険料	()	
3. 減価償却費	()	
4. 貸倒引当金繰入	()	()
()	()	()
IV 営業外収益		
1. 有価証券利息	()	
2. 有価証券評価益	()	
3. 受取利息	()	()
V 営業外費用		
1. 支払利息	()	
2. 貸倒引当金繰入	()	()
()	()	()
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	()	
VII 特別損失		
1. 災害損失	()	
税引前当期純利益	()	()
法人税、住民税及び事業税	()	()
()	()	()

受験番号

氏名

生年月日

× (コゴラトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第2予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄

第4問

第5問

第4問 (20点)

材		料	
5 / 1	月初有高	550,000	5 / 31 消費高 ()
5 / 31	仕入高 ()		" 原価差異 ()
			" 月末有高 425,000
		()	()
製造間接費			
5 / 31	間接材料費 ()	5 / 31	予定配賦額 ()
"	間接労務費 900,000	"	原価差異 15,000
"	間接経費 505,000		
	()		()
仕		掛	
品			
5 / 1	月初有高 ()	5 / 31	完成高 7,500,000
5 / 31	直接材料費 ()	"	月末有高 2,500,000
"	直接労務費 3,250,000		
"	製造間接費 ()		
	()		()
買		掛	
金			
5 / 31	現金支払い ()	5 / 1	月初残高 540,000
"	月末残高 300,000	5 / 31	材料仕入高 ()
	()		()

第5問 (20点)

A社は直接原価計算方式の損益計算書を採用している。直接原価計算方式の損益計算では、原価（製造原価、販売費および一般管理費）を（①）と（②）とに分解し、売上高からまず①を差し引いて（③）を計算し、③から②を差し引いて営業利益を計算する。

A社の直接原価計算方式の営業利益は1,250,000千円であるが、全部原価計算方式によると営業利益は（④）千円となる。この営業利益の差は、全部原価計算方式において期末棚卸資産に含まれる（⑤）の分である。

A社の貢献利益率は（⑥）%、損益分岐点販売量は（⑦）台である。損益分岐点の販売量と実際の販売量との差を安全余裕度というが、A社の安全余裕度は（⑧）台である。

A社の売上高営業利益率は25%である。売上高営業利益率30%の営業利益を達成するために必要だった売上高は（⑨）千円であり、そのときの③は（⑩）千円である。

2 級

答案用紙

第3予想

平成 28 年度
第 144 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では、問題用紙および答案用紙に以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



Net-School

<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成28年度 ラストスパート模試・第3予想
第144回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

2 級 ①

商業簿記

× (コピートジル) ×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

× (コゴフトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第3予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ②

商業簿記

採点欄

第2問

第2問 (20点)

株主資本等変動計算書

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本					
	資 本 金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金 合 計	利益準備金	その他利益剰余金 修繕積立金
当期首残高	8,000,000	1,300,000	600,000	1,900,000	655,000	100,000
当期変動額						
剰余金の配当等	()	()	()	()	()	()
新株の発行	()	()	()	()		
当期純利益						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	()	()	()	()	()	()
当期末残高	()	()	()	()	()	()

下段へ続く

上段より続く

	株 主 資 本				評価・換算差額等	
	利 益 剰 余 金			株 主 資 本 合 計	その他有価証 券評価差額金	評価・換算差額等 合 計
	そ の 他 利 益 剰 余 金					
	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金 合 計			
当期首残高	160,000	1,400,000	2,315,000	12,215,000	7,500	7,500
当期変動額						
剰余金の配当等	()	()	()	()		
新株の発行				()		
当期純利益		()	()	()		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					()	()
当期変動額合計	0	()	()	()	()	()
当期末残高	160,000	()	()	()	()	()

受験番号 _____

氏名 _____
 生年月日 _____

× (コヨマトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・第3予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

	仕 訳		借 方 科 目	金 額
	借 方 科 目	金 額		
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

第5問 (20点)

総合原価計算表

(単位:円)

	第 1 工 程		第 2 工 程	
	原 料 費	加 工 費	前 工 程 費	加 工 費
月初仕掛品	133,000	71,000	143,000	54,500
当月投入	767,000	895,000		1,325,500
合計	900,000	966,000		1,380,000
月末仕掛品				
完 成 品				

損益計算書

(単位:円)

I 売上高		4,801,500
II 売上原価		
月初製品有高	789,500	
当月製品製造原価	()	
合計	()	
月末製品有高	()	()
売上総利益	()	()

(以下略)

2 級

答案用紙

ウラ予想

平成 28 年度
第 144 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では、問題用紙および答案用紙に以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想
第144回対策 答案用紙

2 級 ①

商業簿記

受験番号

氏名

生年月日

×

(コゴトジル)

×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 _____

氏名 _____
生年月日 _____

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想
第144回対策 答案用紙

× (コゴトジル) ×

採点欄	
第2問	

2 級 ②

商業簿記

第2問 (20点)

問1	¥
問2	¥
問3	¥
問4	¥
問5	¥

受験番号

氏名

生年月日

× (コゴロトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ③

商業簿記

採点欄

第3問

第3問 (20点)

損益計算書

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

(単位:円)

I 役員	収益	()	
II 役員	原価		
	報酬	()	
	その他	()	()
	売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費			
1.	給料	()	
2.	旅費交通費	()	
3.	水道光熱費	()	
4.	通信費	()	
5.	支払家賃	()	
6.	賞与引当金繰入	()	
7.	貸倒損失	()	
8.	貸倒引当金繰入	()	
9.	減価償却費	()	
10.	ソフトウェア償却	()	
11.	退職給付費用	()	()
	()		()
IV 営業外収益			
1.	受取利息	()	
V 営業外費用			
1.	支払利息	()	()
	()		()
VI 特別利益			
1.	投資有価証券売却益	()	
VII 特別損失			
1.	ソフトウェア除却損	()	()
	税引前当期純利益	()	()
	法人税、住民税及び事業税	()	()
	()		()

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

× (コゴロトジル) ×

平成28年度 ラストスパート模試・ウラ予想

第144回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

第5問 (20点)

製造間接費当月標準配賦額	円	
製造間接費総差異	円	()
予算差異	円	()
能率差異	円	()
操業度差異	円	()

(注) () 内には、借方差異ならば「借」、貸方差異ならば「貸」と記入すること。

講師の下書き

解き方

第3問 問題資料に金額を記入しながら解いていきます。

第3問

[資料 I]

決算整理前残高試算表

平成28年3月31日

(単位：円)

借方	勘定科目	貸方
△250,000 +12,000 770,000	現金預金	
588,000 { △12,000 180,000 △18,000 288,000 150,000	受取手形	
	売掛金	
	電子記録債権	
	+1,100 56,000	売買目的有価証券
62,000	繰越商品	
	貸倒引当金	△6,000 8,000 → +12,700 → 14,700
4,850,000	建物	
500,000	備品	
	建物減価償却累計額	1,050,000
	備品減価償却累計額	244,000
+1,000 47,000	満期保有目的債券	
+2,100 64,000	その他有価証券	
	支払手形	118,000
	買掛金	180,000
	電子記録債務	170,000
	借入金	300,000
	資本金	3,500,000
	利益準備金	150,000
	繰越利益剰余金	600,000
	売上	3,060,000
	有価証券利息	+1,000 1,000
1,889,000	仕入	
500,000	給料	
前貸 6,000 { △12,000 18,000	保険料	
長前 6,000 { 2,000	電子記録債権売却損	
+2,500 5,000	支払利息	
9,381,000		9,381,000

貸損 12,000 長引 250,000
貸入 12,700 未収 1,000

1/受利 1,000 有得益 11,000
1/未息 2,500 其他得差 21,000

	取	果	消費
建	0 → 0 3,500,000	1,050,000	105,000
X ⊕ 0	1,350,000	0	15,000
備	500,000	24,400	51,200
			171,200

商品
62,000
1,889,000
1,951,000
760,790 800
30

1879,000
300
900
72,000

講師の下書き

解き方

第3問 問題資料に金額を記入しながら解いていきます。

第3問

[資料 I]

決算整理前残高試算表

平成28年3月31日

(単位:円)

☆:月次決算関連
○:後勘定

借方	勘定科目	貸方
169,500	現金預金	
170,000 { Δ1500 +55,000 } 91,500	売掛金	
25,000	電子記録債権	
49,500 ← +3,500 } 46,000	売買目的有価証券	
31,000	繰越商品	
Δ3,000 } 12,000	☆前払保険料	
60,000	○仮払法人税等	
100,000	貸付金	
	貸倒引当金	Δ1,500 2,000 → +2,900 } 3,400
1,008,000	建物	
402,000	備品	
	建物減価償却累計額	662,540 +2,740
	備品減価償却累計額	Δ66,000 106,200 +6360
+500 } 48,500	満期保有目的債券	前40,200
	買掛金	62,500
	電子記録債務	23,500
	☆未払給料	Δ15,000 15,000 +16,000
	長期借入金	294,000
	資本金	250,000
	利益準備金	5,000
	繰越利益剰余金	174,160
	売上	+55,000 1,445,000
	有価証券利息	+500 1,500
	固定資産売却益	6,000
720,000	仕入	
+16,000 Δ15,000 } 201,000	給料	
+6360 +2,740 } 93,500	☆減価償却費	
+3,000 } 24,000	保険料	
Δ1,500 } 13,000	支払利息	
2,400	災害損失	
3,047,400		3,047,400

借入 2,900, 外借入 3,000 前利 1,500 / 後利 1,500 有評益 3,500
 (注) 固定資産売却益は、土地を売却したさいに計上したものである。
 前利 1,500 外. 借入 3,000



解き方

第2問 問題資料に仕訳を記入しながら解いていきます。

第2問

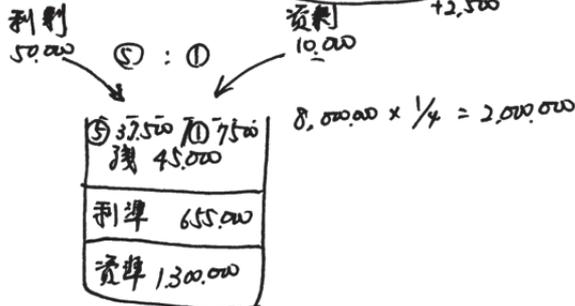
[資料]

1. 当期首における発行済株式総数は5,000株である。
2. 平成27年6月25日に開催された定時株主総会において、剰余金の配当および処分が次のとおり承認された。
 - (1) 株主への配当を、繰越利益剰余金を財源として1株につき¥100、その他資本剰余金を財源として1株につき¥20にて実施する。
 $500,000$ / $100,000$
 - (2) 会社法の規定する額を利益準備金および資本準備金に積み立てる。
 - (3) 繰越利益剰余金を処分して、¥50,000を修繕積立金として積み立てる。(繰利) $50,000$ / 修積 $50,000$
3. 平成27年10月1日に新株を発行して増資を行い、400株を1株につき¥2,500で発行した。払込金は全額、当座預金口座に預け入れ、増資に伴う資本金の計上額は払込金の60%とした。
 $1,000,000$ / 資本 $600,000$ / 資準 $400,000$
4. 当期末に保有しているその他有価証券は次のとおりである。なお、当期中にその他有価証券の売買はなかった。全部純資産直入法により処理する。

	取得原価	前期末の時価	当期末の時価
甲社株式	¥180,000	¥197,500	¥190,000
乙社株式	¥110,000	¥100,000	¥102,500

評差 $7,500$ / 乙有 $7,500$
 乙有 $2,500$ / 評差 $2,500$ } $45,000$
 損益 $600,000$ / 繰利 $600,000$

5. 平成28年3月31日、決算を行った結果、当期純利益は¥600,000であることが判明した。



繰利 $57,500$ / 未配 $500,000$
 利準 $27,500$
 繰利 $107,500$ / 未配 $100,000$
 資準 $7,500$

講師の下書き

解き方

第3問 問題資料に金額を記入しながら解いていきます。

第3問

[資料 I]

決算整理前残高試算表

平成28年3月31日

(単位：円)

借方	勘定科目	貸方
1,173,750	現金預金	
+60,000 △15,000 1,750,000	売掛金	
+40,000 △150,000 150,000	仕掛品	
+31,500 △28,500 28,500	前払費用	
	貸倒引当金	△5,000 7,500 → +6,975 → 8,975
300,000	備品	
	備品減価償却累計額	+38,400 108,000
△3,000 △13,500 103,500	ソフトウェア	
307,500	差入保証金	
	未払金	+45,000 156,000
	未払法人税等	37,500
	未払費用	+12,500 △11,500 11,500
	賞与引当金	+15,000 110,000
	長期借入金	500,000
	退職給付引当金	+25,000 900,000
	資本金	1,500,000
	利益準備金	105,875
	繰越利益剰余金	60,000
	役員収益	+60,000 4,750,000
	受取利息	625
+45,000 △40,000 +150,000 3,325,000	役員原価(報酬)	
127,500	役員原価(その他)	
225,000	給料	
75,000	旅費交通費	
+12,500 △11,500 128,000	水道光熱費	
61,750	通信費	
△31,500 +28,500 330,000	支払家賃	
+15,000 110,000	賞与引当金繰入	
20,000	支払利息	
	投資有価証券売却益	6,000
37,500	法人税、住民税及び事業税	
8,253,000		8,253,000

貸損 10,000 ソf償 11,250 +3,000
 貸入 6,475 ソf除償 2,250
 減価 38,400 退給費 25,000

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください